

第70回 秋田県消防大会



★開会のことば…海野副会長

題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

閉じました。

防団長がそれぞれ行い、大会は幕を

良木保横手市支部長(横手市増田消

副団長が、次回開催支部挨拶は平

団副団長は、斎藤正俊秋田市消防

大会宣言は、斎藤正俊秋田市消防

齊藤直文氏の講演がありました。

続いて、新潟県糸魚川市消防団長

発表しました。

からの消防団活動に対する提言等を

発表しました。

また、第一三回消防団員意見発表

会では、各支部から選抜された女性

団員二名を含む九名の方々が、これ

からの消防団活動に対する提言等を

職された、草彌忠誠氏と近野宗一氏

に秋田県消防協会の感謝状が贈呈さ

れました。

田法務大臣、富樫総務大臣政務官が

田危機管理監、竹下県議会副議長、金

田法務大臣、富樫総務大臣政務官が

祝辞を述べられました。

彰では、二名と三事業所が知事表彰

を受賞され、永年協会役員として在

職された、草彌忠誠氏と近野宗一氏

に秋田県消防協会の感謝状が贈呈さ

れました。

田法務大臣、富樫総務大臣政務官が

田危機管理監、竹下県議会副議長、金

田法務大臣、富樫総務大臣政務官が

祝辞を述べられました。

五二〇名が参加して行われました。

大会では、秋田県消防協会中田潤

会長、開催地秋田市市長(鎌田潔副市

長)の挨拶の後、ご来賓を代表して鎌

田危機管理監、竹下県議会副議長、金

田法務大臣、富樫総務大臣政務官が

祝辞を述べられました。

平成二十九年 全国統一防火標語

火の用心

ことばを形に

習慣に

よろしくお願い申し上げます。

すので、皆様にはご支援・ご協力を

向けて、なお一層努力してまいりま

能の向上、更には消防活動の強化に

である消防思想の普及、消防知識技

当協会も微力ながら、法人の目的

いるところでありませう。

いかなければと、決意を新たにしてい

ゆる災害や危機に全力で取り組んで

め、より強靱な組織を作って、あら

ともに、地域との連携をさらに強

一層高い士気の下に訓練を重ねると

保という強い願いに込めるために、

期待は益々高まってまいります。私た

ち消防人は、県民の安全・安心の確

期待は益々高まってまいります。私た

中、県民の消防防災に対する関心・

害の脅威も依然として続いている中

地震」そして、集中豪雨など自然災

地震」そして、集中豪雨など自然災

害の脅威も依然として続いている中

く敬意を表します。

近年は「東日本大震災」や「熊本

地震」そして、集中豪雨など自然災

害の脅威も依然として続いている中

期待は益々高まってまいります。私た

ち消防人は、県民の安全・安心の確

保という強い願いに込めるために、

一層高い士気の下に訓練を重ねると

ともに、地域との連携をさらに強

め、より強靱な組織を作って、あら

ゆる災害や危機に全力で取り組んで

いかなければと、決意を新たにしてい

いるところでありませう。

皆様方には、常日ごろから昼夜を

問わず、消防活動に献身的にご尽力

いただいたておりますことに対し、深

く敬意を表します。

近年は「東日本大震災」や「熊本

地震」そして、集中豪雨など自然災

害の脅威も依然として続いている中

期待は益々高まってまいります。私た

ち消防人は、県民の安全・安心の確

保という強い願いに込めるために、

一層高い士気の下に訓練を重ねると

ともに、地域との連携をさらに強

め、より強靱な組織を作って、あら

ゆる災害や危機に全力で取り組んで

いかなければと、決意を新たにしてい

いるところでありませう。

上げます。

に開催できますことを心から御礼申

賓のご臨席を賜り、このように盛大

監鎌田雅人様をはじめ、多くのご来

本日は荒天の中、秋田県危機管理

主権者あいさつ(要旨)



秋田県消防協会
会長 中田 潤

潤



開催地あいさつ
(要旨)
秋田市副市長
鎌田 潔

本日は、金田法務大臣をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り誠に光栄でございます。
表彰を受けられる優良事業所の皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、日ごろの消防団活性化へのご協力に對しまして深く感謝申し上げます。また、溺れている男児を救助したご両名におかれましては、その勇気ある行動に敬意を表するものであります。
平成二五年に新しい法律が制定さ

れて以来、消防団には地域における消防防災体制の中核的存在として、地域住民の安全・安心の確保のために果たすべき役割が大きくなっております。
本県、本市に限らず、全国的に消防団員が減少傾向にあり、団員確保と併せ、消防団活動の活性化のための様々な方策がとられている中、本年九月三〇日には本市において、全国女性消防操法大会が開催されます。この大会が、女性団員の活躍に繋がり、更には消防団のイメージアップと消防団員の加入促進に大いに役立つものと期待しており、本大会の成功に向けて、皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。



祝 辞(要旨)
秋田県総務部
危機管理監
鎌田 雅人

本日の大会が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げますとともに、ご出席の皆様が、平素、地域住民の安全を守るため、献身的に消防活動に従事されていることに對し、深く敬意を表します。

県内においては、七月一六日から大雨によって、土砂崩れや住宅の浸水、農業被害が発生しております。今後も急な天候の変化や台風の影響によって、大雨による洪水、土砂災害等が発生する可能性があります。

すので、災害発生の恐れがある場合には、被害を抑えるため、住民の避難などに迅速に対応していただくようお願い申し上げます。
消防団の皆様には、地域防災のリーダーとして、地域に密着し、災害から地域住民の安全を守るという重要な役割を担っていただいております。住民の方々にとつて、皆様方の活動は誠に心強く、寄せられる期待も大きいものがありますので、これからも一層職務に精励されまことを切に望みます。

結びに、本大会が実り多いものとなりますことを期待するとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞(要旨)
秋田県議会副議長
竹下 博英

本日は第七〇回秋田県消防大会が関係の皆様多数ご出席の下、このように盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。
近年、我が国では大規模災害が毎年のように頻発しております。その際に地元消防団員をはじめとする関係者の皆様は、幅広い活動を展開されており、私たちが県民は、その活動にふれる度に皆様が地域防災力の要であることを強く認識しているところであります。

災害時において、地域に密着し、即時の対応力に長けた皆様は、安全・安心を切望する県民にとつて必要不可欠な存在であります。
どうか皆様におかれましては、本日の大会を契機に、更に団結を強められるとともに、県民の安全・安心な暮らしを確保するため、なお一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。
私ども県議会といたしましても、皆様のご意見をお伺いしながら、消防防災体制の更なる充実強化に向けて、懸命な努力を重ねてまいります。
本日は、誠におめでとうござい



祝 辞(要旨)
法務大臣
金田 勝年

消防団員あるいは消防関係者の皆様は、崇高な精神をもって、そして強い強い責任感をもって活動されてきました。県民の安全・安心のために持てる力を極限まで発揮して頑張つてこられました。

九月には全国女性消防操法大会が秋田で開催されます。秋田の消防は本場に素晴らしいという思いが全国に伝わるわけであり、皆様には消防人としての誇りを持って頑張つていただきたい。



祝 辞(要旨)
総務大臣政務官
富樫 博之

総務省消防庁といたしましては、消防団員の加入促進に努めてまいります。皆様におかれましては、それぞれの地域において住民の安心・安全の確保のため、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆様が住民の信頼と期待に応え、消防人としての責務を果たし、一層ご活躍をいただきますようお願いするとともに、秋田県消防協会の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

第13回 消防団員意見発表会

この意見発表会は、消防団員が日ごろの消防団活動で感じた事柄や経験した事例などの発表を通じ、消防活動のあるべき姿や消防人としての役割を再認識し、これからの活動をより充実したものにすることを目的に平成17年度から実施しているものです。

今回も、各支部から選出された9名の団員が意見を発表しました。

なお、発表された意見は、「消防秋田」9月号から順次紹介します。



発表者とテーマ (発表順)

小川 洋平	秋田市消防団 班長	「減少する消防団員を維持するために」
佐藤 めぐみ	由利本荘市消防団 団員	「駆け出し女性消防団員としての試行錯誤」
西宮 三春	仙北市消防団 班長	「私は消防団員です」
新山 武	横手市十文字消防団 団員	「消防団活動から学んだこと」
築瀬 保和	湯沢市消防団 分団長	「36年を振り返って」
阿部 真樹	鹿角市消防団 団員	「消防活動と地域コミュニティ」
武石 孝夫	上小阿仁村消防団 団員	「団員減少による消防団活動の有り方について」
山谷 賢雄	能代市消防団 団員	「私にとっての消防団」
戸塚 徹	井川町消防団 班長	「小さな町の消防団」

平成29年度 消防功労者知事表彰

■消防（水防）活動協力者表彰

平成29年3月19日、秋田市内の太平川で溺れている男児を救出した。

石井 政人 (秋田市)

田口 信康 (秋田市)

■優良事業所表彰

優良事業所表彰は平成9年度から実施され、受賞事業所は今年度の3事業所を加え143事業所となりました。

表彰された事業所は相当数の消防団員が在職し、地域の消防活動に積極的に取り組んでいるなど、多年にわたって地域の消防団活動に貢献してきたことが評価されたものです。

受賞されました事業所には、今後ますますの消防団活動へのご協力をお願いいたします。



受賞事業所の概要

■明治安田生命保険相互会社 秋田支社鹿角営業所

鹿角市花輪字上花輪150

所長 葛巻 伸郎

生命保険業

事業所人員35名中消防団員3名

■株式会社 秋田クボタ

秋田市寺内字上神屋敷295-38

代表取締役社長 白石 光弘

農業機械、農業関連商品等の販売など

事業所人員60名中消防団員8名

■矢島小林工業株式会社

由利本荘市矢島町城内字沖小田429

代表取締役 今野 智彦

電子部品の加工・組み立てなど

事業所人員350名中消防団員29名

大会宣言(全文)



秋田市支部
秋田市消防団
副団長
高藤 正俊

私たち消防団員は、郷土愛護と義勇の消防精神を持ち、統率のとれた組織、存在として、郷土の安心・安全を確保するため昼夜を問わず備えております。

時代や社会が移りかわり、人々の価値観が変化する現代においても私たちの存在は不変のものであります。

防災の原点は地域にあります。消防団が地域の中心となり、市民の理解と協力を得ながら、地域防災力の充実強化に資することは、私たちの使命であり、「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことの出来ない代替性のない存在」である所以です。

甚大な被害をもたらした東日本大震災や熊本地震以降も、大規模な自然災害が発生し、尊い人命と財産が失われています。

私たちの有する、地域密着力、大きな動員力、即時対応能力を遺憾なく発揮しこれからの災害に立ち向かいます。本日、ここにお集まりの皆様と手を携え、団結し、防災体制の充実を図り、地域総合防災力の強化に向け邁進することをここに宣言します。
平成二九年七月二二日

消防団員の確保・活動の充実と団装備充実支援を決議

東北地区消防連絡協議会



平成二九年度東北地区消防連絡協議会は、七月一三日(木)「ホテル青森」(青森県青森市)を会場に、東北地区七県(新潟県を含む)の消防協会から会長、副会長、事務局員ら五二名が出席して開催されました。秋田県消防協会からは、正副会長はじめ七名が出席しました。

青森県知事(代理)と青森市長(代理)の祝辞に続き、前年度決議事項について秋田県消防協会中田会長が処理報告をした後議事に入りました。

各県から提出された要望事項などについて協議され、秋田県提出の「消防団員の確保と活動の充実について(県税の特例条例の設置)」、新潟県提出の「消防団の装備充実に向けた支援の強化について」、更には協議事項として宮城県から提出された「消防団応援の店」について、それぞれ関係機関に要望することとしました。

また、本協議会は来年度新潟県で開催することが決まりました。

協議会終了後、「自衛隊(第九師団)の概要と災害派遣活動内容」と題して、陸上自衛隊青森駐屯地第九師団司令部第三部防衛班塩塚健二航空運用幹部から講演がありました。

前年度決議事項の処理報告

退職償金支給基準の勤務年数の三五年以上の新設について

〔秋田県消防協会報告〕

平成二八年九月二八日、総務省消防庁に対して要望してまいりました。その結果、平成二九年五月三〇日「要望事項については検討いたしません。」との回答がありました。

消防団の水防活動に係る消防関係

予算の確保について

〔秋田県消防協会報告〕

平成二八年九月二九日、公益財団法人日本消防協会に対して要望してまいりました。

その結果、平成二九年二月一七日のとおり回答がありました。

「水防活動を含めて消防団にはあらゆる災害に対処して住民の生命財産を守るため懸命の活動をして頂いていますが、活動の一層の充実のためには消防団員の確保・装備等の改善を図ることが必要です。」



そのため、日本消防協会では、消防庁に必要な事項を要請するなどしてはいますが、今後も引き続き、消防団の皆さんのご意見をききながら、消防庁をはじめとする関係機関とも連携し、団員確保など活動環境の改善にできる限りの努力を重ねてまいります。」

要望事項

一 消防団員の確保と活動の充実について (県税の特例条例の設置) 《秋田県》

平成二七年一二月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化の在り方」の中で、県税の特例条例の設置に関して、消防審議会から国に対して最終答申がなされ、「国においては、当該措置を更に全国に普及させるとともに、当該措置に係る財源措置等の支援策の検討を行うべきである。」とされている。

以上のことを踏まえ、ブロック内で足並みをそろえた上で、国に対して強く要望するとともに、併せて、各県に対しても実現に向けて働きかけをすることを要望いたします。

■主な各県の意見等

【岩手県】

「消防団協力事業所」に対する法人事業税の減免制度等の税制優遇措

置は、被用者が多くなってきたに消防団員の確保に有効であると思われまので、消防団協力事業所表示制度の導入の徹底を図るとともに、国、県に対して県税の特例条例の設置に関して東北地区消防連絡協議会として働きかけすることに賛同いたします。

二 消防団の装備充実に向けた支援の強化について 《新潟県》

平成二八年一二月二二日に発生した「糸魚川市駅北大火」を教訓とし、地域の特性や気象状況などにより、今後、国内において、このような大規模火災に繋がる可能性は皆無とは言えません。

国では「消防団の装備の基準」を改正し、消防団の装備の充実に努めているところであり、木造建築物が密集する地域や商店街などを抱える自治体



新潟県

も国内には数多く存在することから、地域防災力の更なる向上のため、消防団の設備及び装備品の充実に

強化について、特段の配慮をお願いしたいと提案するものです。

■主な各県の意見等

【福島県】

消防団の基本的な装備については、「消防団の装備の基準」が大幅改正され、日本消防協会でも改善努力をされておりますが、今回の糸魚川市の大火のほか、豪雪地内の雪害、河川・土砂災害など、地域の特性に沿った装備も必要と考えますので、新潟県消防協会の要望趣旨に賛同します。

協議事項

消防団応援の店について

《宮城県》

今後さらに登録店舗数を増やしていくため、全国展開している大型店舗に「消防団応援の店」に加入していただければ全国の消防団員がより良いサービスを受けられること

ができ、地域においても団員確保や消防団への理解が得られることが期待できると考える。



宮城県

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

71期教育
初任教

あきた病院での
研修を終えて

秋田県消防学校

第七一期初任教教育入校生は二班に分かれ、六月二十六日と二十七日の二日間、由利本荘市岩城の「あきた病院」で研修を行いました。

この研修の感想文が寄せられましたので紹介します。



橋本 祥緒
男鹿地区消防本部

今日はあきた病院にお世話になり、患者さんへの対応について学ばせて頂きました。お邪魔した患者さんは筋ジストロフィーやASLの難病に苦しむ患者さんばかりで、私が思っていたものと違うものでした。会って話をしてもうまく会話できませんでした。看護師の方々が話すと言葉は発せませんが、笑顔になり、顔で表現するといった動作が見られました。

私を感じたのはもっと低く身を構え、患者さんの気持ちになる努力をしなければいけないということ、また、生活のペースがゆっくりです。そこで、もっと自分自身低く身を構え、はつきりとした発音でかつ患

者さんの気持ちに伝えてあげよう努力をしなければいけないと思いました。

今回の実習を通して、対応というものを改めて考えることができ、病院だけではなく、在宅治療をしている患者さんもいるため、現場に出場した際には、冷静に対応し、少しでも現場で役立てるよう、知識・技能・コミュニケーション能力を身に付けていきたいと思います。



金平 健太
能代山本広域消防本部

病院での研修で私が思ったことは、我々消防士が救急の現場で傷病者の方々に対応すると、医師、看護師の方々が患者さんに対応する時の接遇というのは、相手のことを考えて、思いやりを持って、仕事をしていくというのが同じだなあと感じました。あきた病院の理念である「心のこもった癒しの医療」。この「心のこもった」という部分は、我々消防士にも通ずるところがあると思います。救急の現場だけではなく、火災現場などでも被害に遭われた方や、その家族への対応などは、相手のことを思いやるのが大事なのではないかと今回の研修で学ぶことができました。

私は、筋ジストロフィーの患者さ

んの病棟での実習でしたが、患者さんは全身の筋肉が衰えているだけで、食事だったり、趣味というのは、私たちのような健常者とも変わりません。むしろ、パソコンや手芸をしているときは、私よりも上手で、驚きました。私は、今回の研修でコミュニケーションを積極的にとろうと思っただけですが、皆さん私の話を聞いて下さり、逆に助けられました。

今回の研修は、普段経験できないことが沢山あり、とても良い時間となりました。この経験を生かし、思いやりのある、心のこもった活動を心掛けていきたいと思います。



佐藤 隆也
大館市消防本部

あきた病院は主に神経・筋疾患、筋ジストロフィー、重症心身障害及び結核などに対する医療を提供している。東北地方の国立病院機構で、筋ジストロフィー病棟を有する病院は三つしかなく、そのうちのひとつで研修できたことは、とても貴重な経験だった。

私は、筋ジス病棟で研修をし、患者さんが日々どう過ごしているのか、看護をする上で何に注意しなければならぬのか等を学んできた。筋ジストロフィーとは筋力がしだいに低

下していく病気で、年齢を問わず誰もが発症してしまう。患者さんの中には自分と同じ年の方もいた。しかし、ゲームやパソコン、プラモデル作りなど自分の趣味を楽しみ生活しており、病気を乗り越え楽しく生活している姿に、とても勇気をもらうことができた。

それは、私たち消防は、事故・火災から人命を救助し、また楽しい生活を送ってもらう為日々努力し、どんな困難にも立ち向かっていかなければならないという勇気だ。今回の研修で学んだことをこれから生かし、どなたにも信頼される消防士を目指したい。



柴田 瑠樹
湯沢雄勝広域消防本部

二日間のあきた病院での研修を通して、身近に難病を抱えている人がいて、毎日病気と闘っていることを改めて実感した良い機会でした。

最初は、難病の方々にとどのよう接すれば良いのか分からなかったが、患者の方が気軽に話しかけてくれて、自分としてもやりやすかったし、しっかり介護ができたと思う。介食は、患者の方々の気持ちを考えたり、やらないといけないので、相手の気持ちを理解するという面で、成長できたと思う。自分で動けない人たち

を起こしたり寝かせたりするのはとても大変なことで、介護の重要さを改めて実感できた。介護することも人を助けることなので、消防の仕事と内容は違っても目的は一緒なので、細かいところまで意識して学ぶことができ、充実した時間だった。消防の職業での救急と似たようなこともするので、しっかりと学べたので良かった。

この経験は、これからの自分の職に生きてくるので、このような時間を設けてもらえて良かったと思う。またこのような機会があったら積極的に参加したい。



小山田 海都
大曲仙北広域消防本部

私の班は筋ジストロフィーの患者さんがいる南三病棟へ行った。体が思うように動かなかつたり、言葉が思うようにならない患者さんばかりだったので、うまくコミュニケーションをとれるのか不安なところはあった。しかし、いってみると自分の力で車椅子を動かしたり、パソコンを使って動画を見ていたり、テレビゲームをしていたりと自分たちの好きなことができていた。看護師さんたちは、その行動のサポートをしていて、患者としてではなく、むしろ友人のような関係で話していた。近い距離

で話すことで患者さんも安心するのだと思った。車椅子にも、人それぞれに合った形のものがあり、車椅子だけではなく身の回りのもの一つ一つに自分の形があった。

今回の患者さんのように重度の障害を持っていても、自分たちと変わらない生活を送れているということだ。確かに自分たちと比べて「ハンデイキップはあると思うが、「病気だから」という偏見を持つてはいけな

いと思う。これから先、障害を持った人を助ける場面が来るかも知れないので、今回学んだことを忘れずにいたい。



須原 優太
秋田市消防本部

今回の病院研修を通して二つのことを学んだ。

一つ目は、相手を知る・理解することだ。実習中に非言語コミュニケーションを通じて相手にアプローチしていくと話されていた。研修では相手の動作や表情から意図していることを理解するということが容易ではなかった。しかし、伝え方や質問の仕方を変えるだけでも相手により伝わりやすくなると感じた。救急の現場などにおいても傷病者の表情や細かい所作から傷病者の状態を理解することが質の高い救急活動に

通ずるので、このことを忘れずに活動していきたい。

二つ目は、相手に合わせるということだ。これまで、私自身病気の患者さんとあまり接したことがなかった。食事の介助をした際には、食べるペースがゆっくりだったり、一口の量が分からなかつたりなど苦戦することがあった。また、会話のペースなども考慮しなければならず自分の思い通りにならないことが多々あった。相手に合わせるためには、相手を尊重することが重要となると学んだ。

今回学んだことを、今後の活動に生かしていきたい。



中嶋 晃大
北秋田市消防本部

六月二六日と二七日の二日間、あきた病院で実習を行った。私は一日目の実習で、南第三病棟の筋ジストロフィーの患者の人たちがいる病棟を担当した。

患者の人たちの部屋は個々で模様替えされており、生活用品も充実していた。重度障害の患者は病棟で生涯を過ごすため、病室が「部屋」となるそう。

車椅子の移動では、レバーが精密で僅かな力でも反応する。ナースコールの形状も一人一人タイプが違う

ていて興味深かった。

病棟施設には、カラオケルームや作業室というゲームや玉すだれ、ちぎり絵など多様な工作を行うスペースもあり、僅かに動く手で完成度の高いものを作っていて驚いた。

昼は食事補助を行った。咀嚼も飲み込みもゆっくりなため、口に運ぶ量など工夫して行った。患者さんが笑顔で食べてくれ嬉しかった。

酸素呼吸器は人によって装着していない人もいたが、彼らは私たちと同じように会話もできるし趣味も楽しんでる。障害を抱えていても、笑って話す姿に心を打たれ、自分たちがいかに普通に生活を送れているかを思い知った二日間だった。



消防学校初任科
山岳救助・強歩訓練
七・一八〜一九

支部情報アラカルト

各地区消防訓練大会が

開催されました

横手市支部では、消防技術向上と士気の高揚を図るため、七月一日から一六日にかけて、各地区消防訓練大会が開催されました。



管内八つの消防団の中から勝ち抜いてきた精鋭は支部消防訓練大会に出場し来る秋田県消防操法大会に向け、日ごろより培ってきた訓練の成果を十分に発揮していただきたいと思ひます。

昨年の全国消防操法大会で優良賞に輝いた山内消防団、秋田県代表選考会で初出場ながら第二位に輝いた山内女性消防隊も、今後の大会でも上位を狙うべく、日々練習を重ねています。

また、今年の秋田県消防操法大会では規律訓練が実施されるといこととで、支部消防訓練大会で優勝した分団が出場権を獲得し、横手市支部は大会で規律訓練を披露させていただきます。

予定です。注

目していただきと思ひます。



〔情報提供〓横手市支部〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	7月	累計	7月	累計	年計	7月	累計
建 物	9	104	13	119	191	- 4	-15
林 野	0	18	0	25	32	0	- 7
車 輛	2	17	0	19	32	2	- 2
そ の 他	1	39	1	41	56	0	- 2
合 計	12	178	14	204	311	- 2	-26
死 者 数	1	12	1	14	22	0	- 2
負 傷 者 数	6	36	2	37	54	4	- 1

第54回

秋田県消防操法大会開催のお知らせ

秋田県と秋田県消防協会は、消防団員の消防技術の向上や士気の高揚、消防活動の充実強化を図るため、秋田県消防操法大会を開催します。

多くの方々の観戦をお待ちしております。

開催月日 平成29年9月2日(土) 午前9時から

開催場所 由利本荘市岩城 「秋田県消防学校 放水訓練場」

競技種目 ポンプ車操法、軽可搬ポンプ操法、小型ポンプ操法(競技順)

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp